

門真市公共施設再編計画改訂（案）

概要版

令和8年1月
門真市 総務部財産活用課

令和7年3月に改訂した門真市公共施設再編計画を改訂します。

○計画の趣旨

本市の公共施設は今後一斉に更新のタイミングを迎えます。

仮に現在の公共施設数を維持すると仮定した場合、インフラ施設、水道施設とあわせた今後の更新費用は、30年間で約2,288億円、年平均で約76.3億円かかる見込みになっています。

一方で、本市の人口は減少を続け、令和27年には90,856人まで減少する見込みとなっています。こうした状況をふまえ、本市では門真市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設マネジメントの基本方針の1つに「施設総量の適正化」を定め、施設総量縮減を図ることしました。

本計画は、施設総量の縮減を計画的に進めるため、施設の複合化や統廃合等による施設再編のモデル等を示し、将来的な予算の縮減や平準化、さらには施設配置の最適化を図るとともに、再編した施設における市民の利便性・利用率の向上を目指すことを目的とするものです。

○基本的な方針

【再編コンセプト】

- ① 長期的視点をもったサービス提供
- ② 将来を見据えた施設総量
- ③ より使いやすい施設への転換
- ④ 既存施設の有効活用

【再編方策】

- (1) 貸館機能の積極的な多目的室化
- (2) 専用室の集約
- (3) 再編後の延床面積は26%以上の効率化
- (4) 民間施設、学校施設の活用
- (5) 近隣市との広域連携によるサービス提供

【再編の方向性】

- 次の事項をふまえて総合的に定めます。
- ・総合判定結果（利用状況・コスト・設置目的 等から施設を評価）
- ・改修時期の目安（コストを抑えるために改修時期を整理）
- ・現状と課題（現在の施設状況や周辺まちづくりの状況）
- ・再編対策費と効果額（限られた予算のなかで必要なサービスを提供）

○主な改訂箇所

施設名	再編の概要(変更前)	再編の概要(変更後)
① 防災備蓄倉庫 (門真市民プラザ内)	各学校避難所に防災備蓄倉庫を整備し、分散配置する。 防災備蓄倉庫に集中保管されている防災備蓄物資を、各避難所に分散保管することで、各避難所の防災機能を強化する。	各学校避難所、新庁舎及び旧南部市民センター活用複合施設に防災備蓄倉庫を整備し、防災備蓄物資を分散配置して、防災機能を強化する。
③ 生涯学習センター（門真市民 プラザ内）、青少年活動セン ター（門真市民プラザ内）	両施設を集約化して、全世代利用可能な新たな生涯学習センターを整備する。整備先は、砂子小学校を有効活用し、令和9年度からの供用開始を目指す。	両施設を集約化して、全世代利用可能な新たな生涯学習センターを整備する。整備先は、旧砂子小学校を有効活用し、令和10年度からの供用開始を目指す。
⑥ こども発達支援センター (門真市民プラザ内)	門真市民プラザの除却に伴い、こども発達支援センターを移転する。新施設の整備に際しては、南部市民センター施設、用地の活用方策を検討する。（設置主体は検討）また、移転整備にあわせて、保健福祉センター内にある障がい者福祉センターの生活介護等事業等の機能を新施設へ移転し、複合化する。	門真市民プラザの除却に伴い、こども発達支援センターを移転する。新施設の整備に際しては、南部市民センター施設、用地を活用する。また、移転整備にあわせて、門真市民プラザ内にある適応指導教室教育支援ルーム「かがやき」と防災備蓄倉庫を新施設へ移転し、複合化する。
⑨ 南部市民センター（南部サー ビスコーナー、貸館） ⑩ ⑪	劣化が進んでいる南部市民センターは、維持管理コストが高く、継続して利用するには大規模な改修が必要になることから除却し長期的な視点で維持管理経費を縮減する。大規模な改修が必要になることから除却し長期的な視点で維持管理経費を縮減する。なお、除却にあたっては、こども発達支援センターの新施設整備に際して、物価高騰による建築コストの上昇を踏まえ、既存施設の活用も含めた費用対効果の観点を考慮しながら検討する。南東地域まちづくりの推進にあわせて、南部市民サービスコーナー機能は砂子小学校に移転し、貸館機能は生涯学習センターに集約化する。	南東地域まちづくりの推進にあわせて、南部市民サービスコーナー機能は旧砂子小学校に移転し、貸館機能は生涯学習センターに集約化する。 こども発達支援センター、適応指導教室教育支援ルーム「かがやき」、防災備蓄倉庫との複合化に向けて、南部市民センターの西側部分を解体・新築し、東側部分を改修する。
⑯ 地域高齢者交流サロン	周辺で南東地域まちづくりが進んでいることをふまえて、夕方以降の活用がない本施設の機能を見直す。本施設が担っていた集会機能は生涯学習センターに集約化した上で施設の用途廃止を行い、適応指導教室教育支援ルーム「かがやき」として施設を継続活用する。	周辺で南東地域まちづくりが進んでいることをふまえて、夕方以降の活用がない本施設の機能を見直す。本施設が担っていた集会機能は生涯学習センターに集約化し、当該施設を除却した後、隣接する都市公園との一体的な活用を検討する。
㉑ 保健福祉センター	大規模改修の時期にあわせて、老人福祉センターとの複合化による多機能化を検討する。その際、保健福祉センター内にある障がい者福祉センターの生活介護等事業等の機能を南部市民センター跡地等を活用して整備する新施設へ移転し、複合化する。	大規模改修の時期にあわせて、老人福祉センターとの複合化による多機能化を検討する。その際、保健福祉センター内にある障がい者福祉センターに医療的ケア者等が利用可能な短期入所の整備を検討する。

再編の変更イメージ図（一部抜粋）



※各施設の項番は、門真市公共施設再編計画の対象施設番号と一致